

●英才個別算数コース「実感算数」

新西町校

幼児向けの英才能力開発の場で、めざましい成果をあげるピグマリオン教育。

当塾では、幼稚園年少～年長までを、「ピグマリオンコース」、小学校1年～4年までを「実感算数」コースと名付け、小学校高学年になるまでに図形・数論理・空間把握などの能力を高めていきます。(ご要望により6年生まで受講可能です)



実感算数教育の特徴

世間には「能力開発」をうたう幼児教室やプリント中心のパターン学習をする教室がたくさんあります。それらの中にはすぐれたところもありますが、反復トレーニングで子どもに無理を強いたり、無意味な暗記のために苦痛を与え、かえって子どもをつぶしてしまうようなところもあるようです。

「実感算数」はピグマリオン学育研究所 所長 伊藤恭氏が長年の指導経験にもとづき開発したもので、楽しく創造的な授業を通じ、本来子どもたちが持つ潜在能力を引き出します。

■特徴

(1)知識を詰め込むのではなく、学び取る力を育てる

詰め込まれた知識からは、子どもたちの能力が育ちません。将来役立つ能力とは、生徒自らが獲得したものだけなのです。ピグマリオンの「実感算数」は、知的ゲームなどを通じ、脳に適切な刺激を与え、数能力や図形能力を生徒自らに自然に学び取らせます。

(2)学ぶことが楽しくてたまらない授業

本当に自分の力となる能力は、「楽しみながら」でないと身につけません。「実感算数」の授業は子どもたちが「教室に行くのが待ち遠しくてたまらない」と口々に言うほど楽しいものです。

(3)授業は子どもが主役、子どもの心を大切にする

すべての授業は教具で遊びながら子どもが自然に学ぶことから始まります。そのような具体的な遊びを通じ、楽しく自然に抽象的な概念が形成されます。

(4)学校や学年のワクを超え、算数能力を大きく伸ばす

ゆとり教育の結果、算数の学力が世界先進国の中でどんどん下がっている深刻な状況をうけ、22年の新指



導要領改訂にともない小学校の学習内容は増加しました。さらに今の子供たちに求められるのは「思考力・表現力・発信力」といわれる3つの力です。小学校の教科書を改訂以前と比べると、思考力を問う発展問題をあつかっている教科書が圧倒的に増えましたが、それを学習するかどうかは現場の先生の判断にゆだねられています。実感算数の教材は学校や学年のワクを超え、子どもたちの考える能力を楽しみながら無理なく最大限に引き上げます。単なる計算だけでなく、数学の持つ本当に美しい世界にどんどん引

き込まれていきます。

🐝 「学び取る教育」がこれからの最先端

今までの日本の繁栄は知識を詰め込んだり、計算を早くする「教え込む教育」が支えていました。

しかし、それも限界に達しているのは周知の事実です。これからの日本の子供たちの頭脳を世界のトップレベルに育て上げるには、「創造力を高め、生徒自らが学び取っていく教育」が必要です。「実感算数」はまさにそれを実現するために開発された教材です。

■実感算数教育と従来型教育の違い

実感算数	従来型教育
学び取る教育	教え込む教
感性教育 [感覚重視・五感をフルに使う]	知識教育 [反復練習などを通じて覚え込む]
注意力を高める [全体やそれぞれの関係を把握する]	集中力重視 [一気に集中して暗記する]
思考力を養う [深く考える]	記憶力を求める [知識を詰め込む]
創造力を高める	暗記力を重 する
笑顔をつくる [楽しく学ぶ]	苦痛を伴う [受験 のためなどと納得させる]
人間力を育成する [素敵な人間になることが目的]	自己中心的になる [他と の競争に勝つなどが目的]
総合力をつける [全体をみる]	分析的になる [部分にこだわる]

🐝 ピグマリオン教育の創始者 伊藤 恭先生プロフィール

伊藤 恭(いとう きょう) : 1948 年 岐阜県生まれ ピグマリオン学育研究所代表

<心と能力を同時に育てる>独自のピグマリオン理論を構築し、幼児・小学校低学年学育に驚異的な成果をあげています。

特に、5 進法からはじめる数えない算数能力育成法は、伊藤氏が作成した独自の数能力育成学具「ヌマーカステン」「ドット棒 C 型」によって、年少児で 20 まで、年中児や年長児のほとんどの 1 万までの数の加減暗算を可能にしました。その他、九九からはじめないかけ算指導法は、芸術とまでいわれ各方面から絶賛を浴びています。

その結果、2～3 年間通っている生徒のほとんどが、小学校入学以前に、小 2～小 4 の能力を獲得しています。年長児～小 2 の中には、小 6 以上の数論理能力を持つものもあります。そしてピグマリオン卒業生の多くが、灘、東大寺、ラ・サールをはじめとした名門中学校に進学しています。2026 年度は難関中学で知られるに 101 名の合格者を出した関西大手塾「浜学園」が運営している幼児教室「はまきっず」でもピグマリオンによる指導が採用されています。

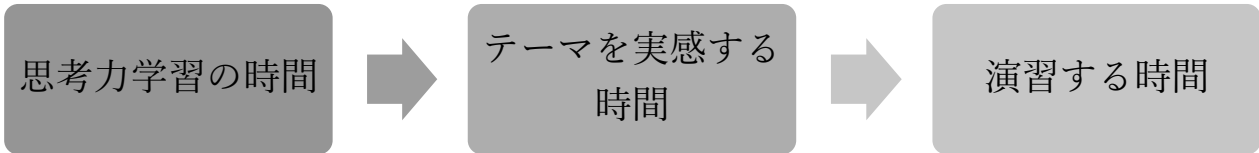
 ビーゼミナールの実感算数 授業の流れ

＊ビーゼミナールの実感算数とは・・・ピグマリオン教育法による 1 対 2 の 55 分個別学習スタイルです。お子様の力に合わせ、きめの細かい指導を行います。お休みされた場合も、月一回の指定の補習日にてご対応しております。

小1から小6までの内容を、無学年形式で学習します。お子様の能力やお子様の学習ペースに合わせて進めることができます。進度の速いお子様は、小4のうちに小6までの内容を学習し、5・6年生では発展的内容を学習し、受験対策をすることが可能です。

授業のはじまりは、思考力を鍛える時間。頭の準備運動です。平面図形や空間認知、迷路や規則性など算数に関わるさまざまな問題が出題されますが、こどもたちにとってはあそびと同じ。考えることが楽しくてたまらない時間です。

そのあとは、テーマの導入。さまざまな教具をつかってわかりやすく数の世界を実感します。ときには実際に水の量を測ってもらったり長さを測ってもらったり、形を作ってもらったりしながら理解を深めます。あとは定着を図るための演習時間です。



思考力学習の時間

テーマを実感する
時間

演習する時間

家庭学習は、授業で取り組んだところの類題となっていますのでおうちでもとりくみやすくなっています。学校の学習内容とは違ったところを学習している場合が多いので、週に1回の授業をより効果的にするためにも家庭学習を毎日取り組み定着につなげていくことが必要です。達成の喜びとやる気を持続させるためにも、おうちの方からの宿題の取り組みに対するお声かけや励まし・褒めの言葉かけや、お子様の理解度の確認のために宿題の丸つけなどのご協力をお願いしております。